

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

このたび、下記の検査項目におきまして、委託先より、検査内容を変更する旨の連絡がありました。つきましては、弊社におきましても検査内容の一部が変更となりますのでご案内申し上げます。

先生方にはご不便をお掛け致しますが、弊社事情をご賢察のうえ、ご了承のほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

変更項目および変更内容

※ 詳細につきましては、次ページ以降の内容をご参照願います。

変更期日

平成29年11月30日(木)受託分より変更



保健科学グループ

保健科学研究所	〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町106	TEL.045-333-1661
保健科学東日本	〒365-8585 埼玉県鴻巣市天神3-673	TEL.048-543-4000
保健科学西日本	〒612-8486 京都府京都市伏見区羽束師古川町328	TEL.075-933-6060
保健科学東京	〒160-0001 東京都新宿区片町3-3	TEL.03-3357-3611
保健科学新潟	〒950-0054 新潟県新潟市東区秋葉1-6-31	TEL.025-275-0161

平成29年11月30日(木)受託分より変更

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考	総合検査案内掲載ページ
4068	リゾチーム《血清》	検体必要量	血清 0.4 mL	血清 0.5 mL		10
		報告下限	0.1 未満 $\mu\text{g/mL}$	0.0 $\mu\text{g/mL}$		
4170	リゾチーム《尿》	検体必要量	尿 0.4 mL	尿 0.5 mL		
		基準値	0.1 未満 $\mu\text{g/mL}$	0.0 $\mu\text{g/mL}$		
		報告下限	0.1 未満 $\mu\text{g/mL}$	0.0 $\mu\text{g/mL}$		
1160	ミトコンドリアAST (m-AST)	検体必要量	血清 0.5 mL	血清 0.8 mL		
5298	ビタミンB ₆	検体必要量	血清 0.5 mL	血清 1.0 mL		18
5754	ビタミンK分画	検体必要量	血漿 2.0 mL	血漿 2.5 mL		19
5047	ガストリン	検体必要量	血清 0.4 mL	血清 0.5 mL		28
5076	メタネフリン分画	検体必要量	蓄尿 2.0 mL	蓄尿 5.0 mL	※1	30
5297	サイクリックAMP (c-AMP)《蓄尿》	検体必要量	蓄尿 1.0 mL	蓄尿 2.0 mL		36
4765	CSLEX (シアリルLe ^x 抗原)	所要日数	4 ~ 9 日	4 ~ 8 日		42
4246	α_1 -酸性糖蛋白 (α_1 -AGP)	検体必要量	血清 0.4 mL	血清 0.3 mL		44
2091	ループスアンチコアグラント(LA) [希釈ラッセル蛇毒試験(DRVVT)法]	容器 D-3 の説明内容	血液を正確に 1.8mL 入れ転倒混和後、すみやかに室温にて 1,500G 以上 15 分間遠心後、上清の表面よりやや下の部分を 1.0mL 採取し、凍結保存にてご提出下さい。血小板の混入は、測定結果に影響しますので注意して下さい。 ※遠心機回転数の計算式 $G = 1.118 \times 10^{-5} \times r \times n^2$ r = ローター半径(cm) n = 回転数(rpm)	血液を正確に 1.8mL 入れ転倒混和後、すみやかに冷却遠心機を用い 1,700G 以上 15 分間遠心後、上清の表面よりやや下の部分を 1mL 採取し、凍結保存にてご提出下さい。血小板の混入は、測定結果に影響しますので注意して下さい。 ※遠心機回転数の計算式 $G = 1.118 \times 10^{-5} \times r \times n^2$ r = ローター半径(cm) n = 回転数(rpm)	※2	66
2436	ループスアンチコアグラント(LA) [リン脂質中和法]					
4432	抗皮膚抗体	検体必要量	血清 0.5 mL	血清 0.3 mL		67
4025	C1q	検体必要量	血清 0.4 mL	血清 0.3 mL		69
7221	水痘・帯状ヘルペス [IAHA]	項目名称	水痘・帯状疱疹ウイルス [IAHA]	水痘・帯状ヘルペス [IAHA]		95
5096	エトスクシミド	検体必要量	血清 0.5 mL	血清 0.2 mL		107
5080	キニジン	検査方法	EIA 法	KIMS 法		110
5098	アミカシン	検査方法	EIA 法	KIMS 法		111

※1 6N塩酸 20mL(小児 5~10mL)を予め入れた容器に 24 時間蓄尿、尿量測定、混和、必要量提出。

※2 日本検査血液学会標準化委員会 凝固検査標準化ワーキンググループの「凝固検体取扱いに関するコンセンサス」に基づいた内容に変更いたします。